

十 赤十字かごしま

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

発行所
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話 099-252-0600

第183号 平成21年10月発行

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

■青少年赤十字活動を学び、成長する児童・生徒、燃える先生方



青少年赤十字の心を学ぶ小学生



フィールドワーク（闇の国）で絆を深める小学生



心肺蘇生法を体験する中学生

今年も「赤十字の精神」の理解、青少年赤十字が掲げる態度目標「気づき、考え、実行する」力の育成、リーダーの養成等を目的に、小学生、中学生、高校生を対象にした青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（トレセン）や、指導者等を対象にした講習会・研修会が実施されました。いずれも日赤鹿児島県支部・県青少年赤十字指導者協議会共催、県教育委員会後援で、次のとおり行われました。

小学校（39名）・中学校（40名）…………… 8月 4日（火）～ 6日（木）

高等学校（23名）…………… 8月 9日（日）～11日（火）

指導者（担当者）講習会（21名）…………… 8月10日（月）～11日（火）

（会場：県立霧島自然ふれあいセンター）

沖永良部島一日トレセン（和泊・知名両町小・中学生39名）

（会場：知名町中央公民館） 7月28日（火）

校長・教頭・指導主事等対象研修会（9名） 8月17日（月）

（会場：県赤十字会館）

参加した児童・生徒は、盛りだくさんの内容に初めて出会う仲間たちと力を合わせて取り組み、二泊三日間の活動を通して多くのことを学び、少し成長した自分を自覚することができたようでした。また、先生方も、青少年赤十字の指導者として、あるいは一人の教師としてのあるべき姿について振り返るとともに、新たな実践意欲を燃やすよい機会となったと喜んでおられました。

＜男子中学生：「48時間後の私」から＞

「今まで自分は、「気づいて、考えて」で止まっていた。「実行する」なんて周りの目が怖くてできませんでした。でも、このトレセンで『実行する』ということが大切なんだなと思いました。これからは、自分の意志で『実行する』ということをしたいです。なんか積極的になれてきた。本当に来てよかった。」

＜女性教師：「2日間を振り返って」から＞

「若いから何も力がないのだと臆病になっていた自分を捨て、失敗を恐れず、一生懸命がんばっていきましょうと思った。スタッフの先生方、二日間、本当にありがとうございました。私もがんばります。先生方のパワーに負けないように。」

修了書を手にして満足して帰っていった児童・生徒や先生方は、この成果を温めながら今後のそれぞれの学校や生活の場で、きっと多くの「気づき、考え、実行する」姿を見せてくれることでしょう。

ワールドファーストエイドデー（世界救急法デー）をPR

～3つの赤十字奉仕団のコラボレーションによる救急法の実技体験～

鹿児島県支部では、9月12日（土）「オブシァミスミ」（鹿児島市宇宿2丁目）の1階中央広場で「ワールドファーストエイドデー」を周知するイベントとして、救急法の実技体験などを行い、多くのお客さまに心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の重要性をアピールしました。

これは国際赤十字・赤新月社連盟が9月の第2土曜日を「ワールドファーストエイドデー」と位置付け、世界各国で一斉に救急法普及キャンペーンを行うことを受けて当支部においても、多くの方が買い物で集まる「オブシァミスミ」で実施しました。

会場では、赤十字安全奉仕団の救急法等指導員がお客様に呼吸停止、心停止が疑われる時に行う心肺蘇生法やAEDの説明を行い、とっさの手当が命を守る重要性を訴えました。

当日は、青年赤十字奉仕団がイベントへの参加呼びかけや子供対象の折り紙教室を行い、また谷山地域赤十字奉仕団が参加者



への接待を行い、当支部3赤十字奉仕団のコラボレーションで人工呼吸や心臓マッサージなどに挑戦されたお客様には好評を得ました。

特に子供連れのお客様には、「折り紙教室やお絵かきコーナーで子供が遊んでいる合間に十分に救急法体験ができた。かねては子供連れで目が離せなくて参加できないが、今回しっかりと体験できて良かった」など多くの感想をいただきました。

赤十字の活動は、皆さまからの社資で支えられています。

平成20年度鹿児島県支部決算承認される



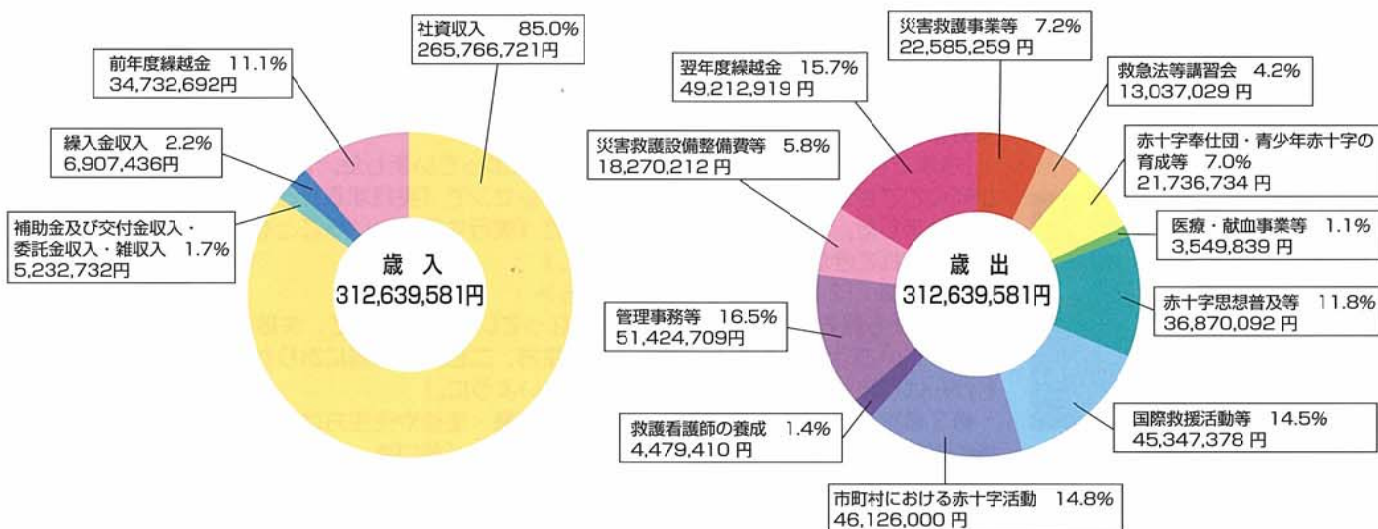
去る6月9日に、鹿児島市内のホテルにおいて、赤十字社員の代表で構成されている評議員24名、監査委員2名の出席をいただき、平成21年度第1回評議員会を開催いたしました。

庭田副支部長（鹿児島県保健福祉部長）の挨拶の後、平成20年度の事業報告及び歳入歳出決算について審議され、原案どおり承認されました。

日本赤十字社鹿児島県支部においては、平成20年度も県民の皆様方の温かい支援に支えられ、災害救護や青少年赤十字など各種赤十字活動を展開することができました。

県民の皆様方のご協力に心から感謝申し上げます。

平成20年度 日本赤十字社鹿児島県支部一般会計決算



赤十字活動を支え、親睦を図る赤十字有功会



平成21年度鹿児島県赤十字有功会総会が7月30日(木)、会員53人(社)が出席し、鹿児島市の「鹿児島東急イン」で開催されました。

総会では、大野芳雄有功会会長（鹿児島銀行会長）の挨拶のあと、平成20年度の有功会事業報告、収支決算や平成21年度事業計画、収支予算について協議を行い、有功会の目的達成に向けた事業の推進や日本赤十字社に対する協力を一層強めていくことを決定いたしました。

続いて、鹿児島市中央公民館講師の高嶺欽一氏による「社会の流れを整理する」と題して講演が行われました。

講演では、今、国内や国際的に「大きな変革期」にある中で、情報を整理して冷静な判断をすることが大事であることなどを話され、会員の皆様は熱心に聞き入っておられました。

また、山口、福岡両県の大雨被害に伴う義援金募集受付がちょうど始まっており、早速、出席された会員の皆様方から温かい善意が寄せられました。

夏休みの「楽しく学ぼうキッズ献血」大好評

鹿児島県赤十字血液センターでは、児童の夏休みの自由研究を応援するとともに、これからの献血基盤を担う小学生児童とその保護者を中心に、より多くの皆様へ献血に対する理解と献血思想の普及・啓発を図るため、夏休みの8月6日(木)7日(金)と8日(土)の3日間、午前の部・午後の部計6回に分けて、「楽しく学ぼうキッズ献血」を開催いたしました。

今年度は参加希望者も大変多く、先着順により早々に受付を終了いたしました。3日間で合計253名の親子が参加し、けんけつちゃんによるアニメーション「献血のしくみ」や、「アンパンマンのエキス」を鑑賞したり、【キッズ献血】を楽しみました。【キッズ献血】とは、参加者が抽選でお医者さんや看護師さん・血液センター職員・献血者に扮装して献血の模擬体験をする企画です。お陰様で、父母も扮装したわが子を撮影したり、「アンパンマンのエキス」を見て感動したりと、大好評で、親子で楽しく献血について学びました。お帰りの際には、お医者さんや看護師さんに扮装した【キッズ献血】の記念写真や【キッズ献血カード】及び、けんけつちゃんのぬいぐるみなどを差し上げました。子供たちからは、「病気の人たちが輸血を待っていることを初めて知りました。なので、大人になったら献血しようと思います」等感想を多数いただきました。



献血プラザかもいけクロス5階にてミュ－FM主催

「ヴォーカリストオーディション」予選会参加者への献血講座開催

鹿児島県赤十字血液センターでは、夏休みにミュ－FM主催の「ヴォーカリストオーディション」に協賛し、新しくリニューアルした「献血プラザかもいけクロス」5階で7月25日(土)8月15日(土)8月29日(土)計3回「ヴォーカリストオーディション予選会」を開催しました。ヴォーカリストオーディション予選会には、10代20代の若年層を中心に合計313名参加し、思い思いの曲を熱唱して、本選出場が決まりました。この予選会の場を活用して献血の重要性を説明する献血講座を行いました。参加者からは、「今回、献血講座を受けて改めて命の大切さを実感した。16歳になったら病気の人たちのためにぜひ献血をしてみたい」との声をいただきました。全国的に若年層の献血者が減少するなか、できるだけ多くの若者に献血の輪を広げ、少子高齢化に向けた輸血用血液の確保対策として、若年層への啓発が最重要課題となっております。



善意の高額社資 ご協力ありがとうございました。

厳しい経済状況にもかかわらず、社資にご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。
平成21年4月1日から平成21年7月31日までの高額社資(5万円以上)ご協力の方々は下記のとおりです。

(敬称は略させていただきます) ※掲載につきましては、ご本人さまの同意をいただいております。

【個人】

岩元 恭一	永野 萌子	柳田 玉留
内徳 久芳	中村 家堯	山下 ノブ子
内宮 孝雄	中村 工ダ	山本 富子
宇都 キク工	中村 富子	山本 正樹
宇都 忠良	永森 節子	吉 富 博子
鶏瀬 廣志	永山 範子	
鶏瀬 迪子	新園 夕ミ	
甲斐 正四郎	西村 和子	
川畑 俊彦	橋口 篤子	
木下 奈利子	日置 久江	
新川 テル	平川 昭雄	
勢田 哲央	福元 保	
竹田 忠雄	藤岡 義道	
坪山 カズ子	水間 良信	
時崎 咲子	宮田 正敏	
徳重 勝美	森 政雄	

【法人】

医療法人三徳会 東医院	合資会社甲斐商店
医療法人南溟会 宮上病院	国分電機株式会社
大口酒造株式会社	三洋ハウス株式会社
鹿児島空港ビルディング株式会社	社団法人鹿児島共済会
鹿児島県農業協同組合中央会	長島研醸有限会社
鹿児島信用金庫	納屋通り商店街振興組合
鹿児島相互信用金庫	肥後産業株式会社
鹿児島トヨタ自動車株式会社	南洲酒造合資会社
株式会社アーステクノ	南生建設株式会社
株式会社鹿児島大和	焼肉なべしま 名瀬店
株式会社西川グループ	有限会社MK・リパティヒル
株式会社前田組	有限会社きくや商事
株式会社南日本銀行	有限会社国分日通プロパン
株式会社山形屋	有限会社松屋洋服店
株式会社和香園	ゆき美容室
上川路会計事務所	

(50音順)

聞いて効いて「栄養管理への取り組み」

vol.49

鹿児島赤十字病院 管理栄養士 脇川 美保



「食」とは人に良いこと、という意味があると聞いたことがあります。栄養は生命を維持するために必要不可欠であり、食べることは生きていく上で大きな役割を担っています。近年では栄養管理の重要性が高まり、個別の栄養状態の把握、それに基づく栄養管理の計画・実施が必要となっています。患者様が「おいしく楽しく食べる」ために適切な栄養管理を行い、生き生きとした生活が送れるように食の面から治療に携わっています。

入院中における食事は大切な治療のひとつです。身長、体重、年齢、病状にあわせて患者様ごとに必要な栄養量を計算し、食事を提供しています。必要栄養量のなかでおいしく食べていただくために食材・味付け・色彩・盛り付け等を工夫し、食べる楽しさを感じていただきたいと思い、献立作成・調理業務を行っています。しかし、患者様は食事の習慣や嗜好、疾患など同じということはありません。また、患者様のなかには食欲のない方、思うように食事が摂れず不安を抱えている方、栄養状態の悪い方など様々です。当院では個人対応の実施により患者様の希望に少しでも応え、満足していただけるよう心がけています。個人対応が増加し、業務が複雑化するなかで患者様の希望をどこまで反映できるかということは個別の栄養管理を実施する上で大きな課題であると考えています。

病院の栄養管理は栄養士だけではなく、医師、看護師、薬剤師など多くのスタッフとの連携で成り立っています。患者様一人一人の栄養状態を把握し、適切な栄養療法を選択・実施していけるよう管理栄養士として専門的な知識を積み、積極的な介入を心がけています。これからも患者様の言葉に耳を傾け、患者様に安心して楽しく食べていただき、少しでも治療の手助けとなれるよう努めていきたいと思っております。

錦江園 ふれあいの夏祭り

8月8日(土)、錦江園夏の一大イベントである夏祭りが、今年は「赤十字思想誕生150周年 錦江園開園35周年 ふれあいの夏まつり」として開催されました。

当日は、あいにくの雨となり屋内での開催となりましたが、地元平川の太鼓グループ「飛天」の皆様の勇壮な太鼓で幕が開くと、老人クラブや町内会、ボランティアの皆様や職員による踊り・歌・蛇味線、ご家族によるカラオケと大変な盛り上がり利用者の皆様方も大変喜んでおられました。職員手作りの焼きそばやだんごなどの出店もたくさんの方で賑わい、一喜一憂の抽選会の後は、200名を超す参加者全員で総踊りをして楽しかった夏祭りを締めくくりました。

今年は、雨のため夏祭り当日の花火はできませんでしたが、後日晴れた日に利用者の皆様にご覧いただき楽しんでいただきました。次々と打ち上げられるきれいな花火に皆さん喜んでおられました。



「食事・睡眠・チャレンジ献血」を標語に健康相談が始まりました



献血を希望されて、残念ながら低ヘモグロビンまたは低比重で献血ができなかった方及びその他の理由で不採血になった方を含め、健康相談を実施しております。

(1) 実施時期及び実施場所

実施期間 平成21年9月より

実施場所	実施日	実施時間
献血プラザかもいけクロス	毎月第2水曜日	午前10時～12時・午後1時～3時
献血ルーム・天文館	毎月第3水曜日	午前10時～午後1時

(2) 実施内容

上記の日程で、「食事 睡眠 チャレンジ献血」を標語に、献血ができるように、食事や生活習慣のアドバイス等健康相談を保健師等が行います。

■お問合せ 鹿児島県赤十字血液センター TEL 099-257-3141 医務課迄

●支部・施設のイベント情報

支部・施設	実施日	内容
支部事務局	・12/1～12/25 ・1月～2月	・NHK海外たすけあい義援金募集 ・青少年赤十字一日トレーニングセンター
赤十字病院	・12月下旬	・院内クリスマス会
血液センター	・11/1～1/31 ・1/1～2/28 ・2/1～4/30	・Lets 400 献血に行こうキャンペーン ・はたちの献血キャンペーン ・Lets 400 ありがとう献血キャンペーン
錦江園	・10/18	・園内運動会